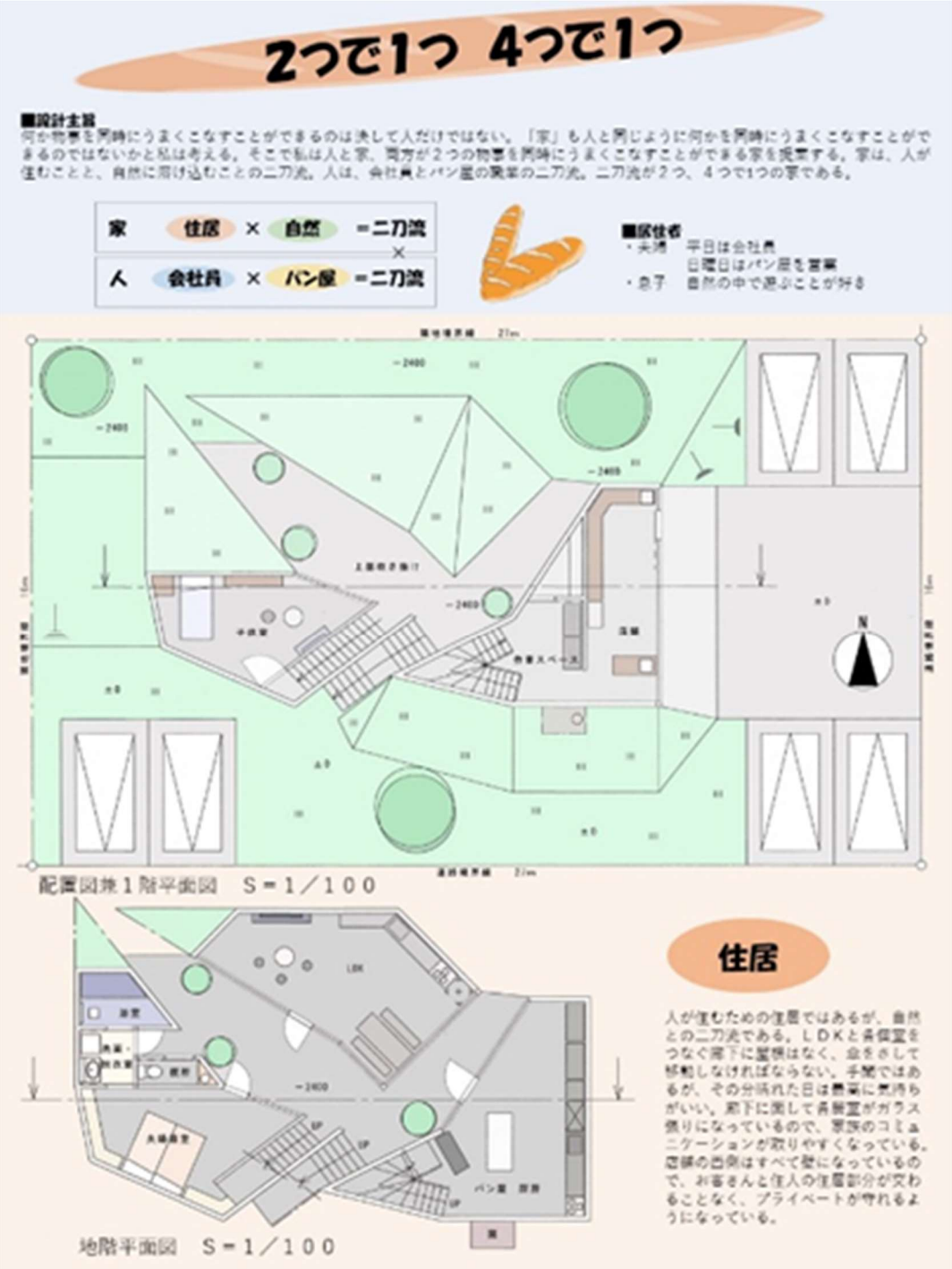
修成建築設計競技　特別賞

第 15 回修成建築設計競技で建築科３年生の池田　創紀さんが特別賞の「日本建築士事務所協会連合会会長賞」を受賞しました。

課題は「二刀流な家」です。建築的視点から、あれもこれもひとつの建築物の中で、欲張りな暮らし方やしくみ、構造などについてのアイディアを提案してくださいというものでした。この作品では、「家」とこの家に住む「人」それぞれが二役をこなすという設定のもと、提案を行いました。



パン屋

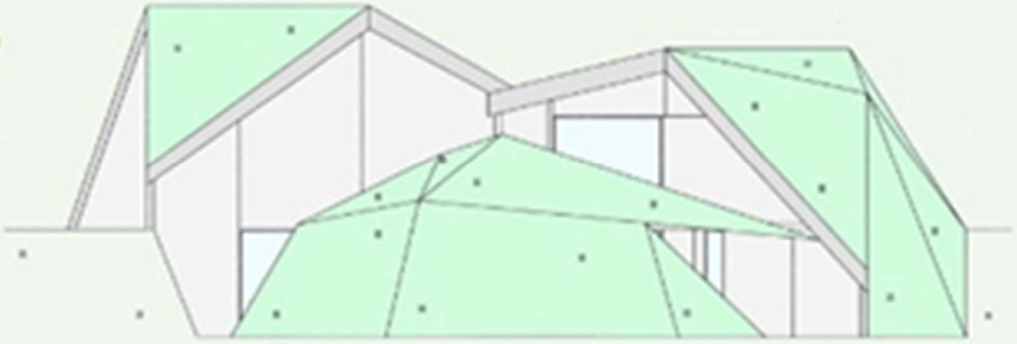
私は幼い頃パン屋になるのが夢だった。けれど、大人になるにつれて幼い頃の夢は忘れていき、会社員として忙しい日々を過ごしていた。結婚して子供が生まれ、忙しくも幸せに暮らしていたある日、楽しそうに将来の夢を語る我が子を見て、自分が幼い頃に抱いていた「パン屋」という夢を思い出した。そして、愛着のある今の仕事を続けながら、ずっと趣味として続けてきたパン作りも仕事にすることを決意した。

地階部分にはパン屋の厨房を設けた。厨房はオーブンではなくパン窯を用いることで、オーブンに比べてパンがふっくらとした仕上がりになる。また窯自体が石やレンガ、土などで作られており、窯の材料も独でられるような水を使用するため、より自然に近い環境である。

1階部分の東側にはパン屋の店舗を設けた。東側道路の壁面をすべて窓にしたことで、外から見た時の見映えが良い。また外からでも店内を全体的に見渡すことができ、南側にある煙突から焼き立てのパンの匂いが漂ってくることで、視覚的にも嗅覚的にも人を呼び寄せる効果がある。

自然

家は地面が盛り上がってできたかのように鎮都している。自然の中で遊ぶことが好きな子どもは、家の屋根を走り回り時には地下に行き、縦横無尽に遊びまわることができる。



北側立面図　S＝1／100

断面図　S－1／100

屋根全体が芝におおわれており、地中に埋もれたような、家と陸（緑）が一体化したような造りの家になっている。そのため、夏は涼しく冬は暖かく過ごすことができる。